

山行報告書

京都田辺山友会

報告者 山下隆

山名	東海自然歩道⑧ 童仙房	山行名	東海自然歩道⑧
ルート	J R加茂駅ー加茂原山ー童仙房ー野殿ーJ R月ヶ瀬口		
山行日	2014. 3. 8	天候	晴れ
参加者	リーダー：山下隆 サブリーダー：平松昇 男性：秋月、金本、北村、佐坂、竹原、西川、樋口、藤富、三宅、宮野、山口、遊佐、弓仲、 女性：伊藤、大林、加藤、岸田、染矢、竹原、徳田、長野、藤富、平松、姫島、西上、山田、吉野 やましろの会：布施田夫人、高田たく子、横井由美子 合計： 32名		
ルートとコースタイム	； 所要時間 (7:20) , 実歩行時間(約 6hr)、標準時間 (5hr) J R加茂駅 8:39-(バス)ー9:04 原山 9:25・・・11:20 馬場 11:30・・・11:40 (童仙房)・・・ 11:55 布施田山荘 12:50・・・13:35 野殿 14:00・・・ 押原 (国道 163 号横断) 15:45・・・ 16:45 月ヶ瀬口 17:13-(電車)ー京田辺		

山行報告：参加者は田辺山友会の 29 名に 3 名のやましろの会の方が案内役として参加していただけた。まるで交流部の会合のような参加者数で戸惑う。人数が多いとリスクも増えるので、使わないことを期待しつつも、救急セット・ロープなども分担してもらい、3 班に分けて歩いた。最近出来たネットでの登山届方式の山行届も提出した（京都府警のHP窓口から）。

今回は紅葉の季節に天候に恵まれ、宇治橋から鷲峰山を越え加茂の原山までの 4.2 万歩は自己最高の 22km だった。8 回目の今日も天気にも恵まれ、ほぼ同等の距離。元気な午前中に童仙房（約 600m）まで登り、後はだらだら下りなので前回よりは楽なコースと期待したが、舗装道が大部分で、後半の長い下りの舗装道は想像以上に足にきた。先頭の平松さんのスピードに皆さん必至で着いていく。歩数計は 3.6 万歩だった。



光輝く茶畑の中を気持ちよく高度を稼ぐ。茶畑はどこまで続き、こんなところにまでと驚く。ビューポイントでは鷲峰山を振り返ったり、月ヶ瀬口方面に下る時にはなだらかな高原が遠望できた。2・3 日前に降った残雪も味付けしてくれた。童仙房近くには馬 2 頭を飼育し、「なつか乗馬療育研究所」との看板があり、心の病のある子供達へのリハビリ施設とのこと。我らもわらの餌をあげながら、しばし癒された。童仙房の中心通りには立派な山荘もある。丁度昼に、やましろの会の布施田さんの山荘に着き、暖かいご飯・味噌汁・猪肉等を頂く。歩いているときは感じないが、零度近い寒さゆえ、暖かい昼食はなによりのご馳走だった。

童仙房には浄土真宗の泥洹寺（ナイオンジ）や在日韓国人のための禅宗系の立派なお寺があったり、雨乞いの場所らしき小さな池の中に小さな祠があり、役割を終わろうとする大きな杉の

木があったりし、童仙房という名と共に、謎めいた雰囲気を持つところだった。夏過ぎにはブルーベリー目当ての人で賑わいそうだ。

ヒヤリハット；ありません。

東海自然歩道 8 に参加して

姫島百合子

3月8日、何と駅で30名近い人数に驚きました。寒くて天候は不順でしたが、皆で喋りな



がら歩くので22kmの行程も苦になりませんでした。きれいに刈りとられた茶畑や畑等の田園風景が広がっていました。途中ホースセラピーをされている所で馬に餌やりをさせて頂きました。2頭の馬は自閉症等の子供の心をいやすだけあって優しくて穏やかな顔をしていました。

昼食は「やましろ山の会」会長布施田さんの山荘で猪の佃煮やおでん、干物等を頂きました。温かくておいしく頂きました。皆がコップや箸、皿等を持参すれば布施田夫妻の負担がへらせたなあと思いました。

また途中、バーナーでお湯を沸かせて頂いて熱いコーヒーが飲めて心身ともにほっこりしました。

とても楽しい1日でした。一緒に歩いて頂いた「やましろ山の会」の皆様ありがとうございました。

